

皆さんは、自分の時間を何に最も費やしていますか。

総務省統計局発行の「社会生活統計指標」には、社会や人口に関わる主要な統計データが都道府県別にまとめられており、その項目のひとつである「生活時間」から、生活の実情がわかります。

その中の指標に、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌の平均時間」があります。山口県は、有業者だと女性は112分で全国2位、男性は127分で、なんと全国で一番長くマスメディアに時間を費やしています。

では、他にはどのように時間を過ごしているのでしょうか。この指標の出典である「平成28年社会生活基本調査」でさらに詳しく、年間を通じて人々が行った趣味・娯楽の行動を知ることができます。山口県では、映画館以外での映画鑑賞、CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞、読書の順に、行動者の割合が多い結果となっています。

ところで、これらの行動は家の中で過ごすイメージがありませんか。

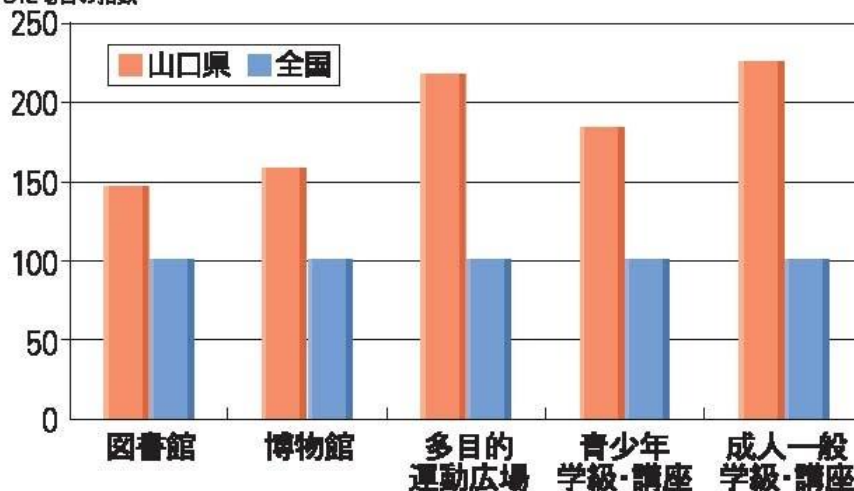
再び「社会生活統計指標」で、山口県の文化施設などの状況を見てみましょう。

人口百万人当たりの数で比較すると、図書館数は全国9位、博物館数は13位、また、青少年学級・講座数は11位、成人一般学級・講座数は9位などと、全国的に上位にあり、グラフでは全国値を100とした場合の指数で示してみました。

これらのことからわかるように、山口県に住む人は知的好奇心を満たす時間の使い方や行動が多いだけでなく、山口県自体、それを楽しむ環境も整っている場所だと言えます。

これからの季節、家の中でゆっくり過ごすのもいいですし、充実した学びの環境を大いに活用してみるのもいいかもしれませんね。

全国値を100とした場合の指数 **山口県の施設、学級・講座数 (人口100万人当たり)**



出典:総務省「社会生活統計指標」より